

せんそうじ

春の広域文化財調査探訪：花のお江戸・浅草寺界限

実施日	2019年5月8日(水)	参加者	17名
コース	町田駅－(銀座線)－浅草～雷門～山門・宝蔵門～本堂・観音堂～影向堂・薬師堂・淡島堂～浅草神社～弁天堂・時の鐘～二天門～待乳山聖天寺～言門橋(墨田川)を渡る～牛島神社～吾妻橋～浅草－新宿－町田		
概要	浅草寺は推古朝の御世に創建された古刹であり、現在は著名な国際観光地です。江戸文化が花咲いた町人の活力を伝える寺社、仏像等の文化財を調査・堪能する。		

見 所

- 浅草寺：草創は、推古天皇三十六年(628)創建と縁起にある。江戸・下町情緒あふれる地域です。
 - ・雷門 仲見世 宝蔵門(仁王門) 本堂と続く。
 - ・本堂(観音堂)：戦災で焼失し、昭和三十三年(1958)鉄筋コンクリート造で再建。外陣の天井画(龍之図、天人之図、散華之図)などは一見の価値がある。
 - ・影向堂 ・橋本薬師堂：薬師如来坐像、十二神将、十王像を祀る。
 - ・六角堂(室町時代の建物)：日限(ひぎり)地藏尊を安置。 ・淡島神社など各種の寺社。 ・天水桶、一言不動尊、聖観世音菩薩像(露座)：享保三年(1718)造立、西仏の板碑、六地藏石幢(源義朝時代ともいう)等々がある。
- 浅草神社(あさくさじんじゃ)：浅草寺の由来に登場する土師中知と檜前浜成・竹成の霊を祀っており三社さんとも云う。石の大鳥居と大きな狛犬がある。
- 待乳山聖天：浅草寺の支院で本龍院という、夫婦和合の御利益がある。
- 牛島神社：見事な社殿、狛犬4対、牛4頭と見応えあります。



五重の塔



観音堂の天井画



観音堂の前で



浅草神社の大きな狛犬